

2018年度CBLの目標と評価

評価項目	5	4	3	2	1	記入欄
どこまでの範囲の人が共感できるテーマ設定をしているか	自分たちにとって身近な問題であり、遠くで暮らしている見知らずの人々も、問題意識を感じている。	自分たちにとって身近な問題であり、同じ地域で暮らしている人々も問題意識を感じている。	自分たちにとって身近な問題であり、家族や友人も問題意識を感じている。	自分たちにとって身近な問題であるが、家族や友人は問題意識を感じていない。	自分たちにとって身近な問題ではなく、家族や友人も問題意識を感じていない。	
調査方法は的確であるか	学校外でアンケート・インタビュー・取材を行うなど、自分たちで一次情報を入手した上で、信憑性の高い書籍や論文、新聞など多様な情報源から必要な情報を入手した。	学校外でアンケート・インタビュー・取材を行うなど、自分たちで一次情報を入手した。	学校内でのアンケートやインタビューを行ったほか、信憑性の高い書籍や論文、新聞など多様な情報源から必要な情報を入手した。	学校内でのアンケートやインタビューを行った。	2次情報しか収集できていない。	
どこまでの範囲の人が共感できる解決策か	自分たちや家族・友人だけでなく、世界中に暮らしている人々にとって最善な解決策である。	自分たちや家族・友人、日本に暮らしている人々にとって最善な解決策である。	自分たちや家族・友人、同じ地域に暮らしている人々にとって最善な解決策である。	自分たちや家族・友人にとって最善な解決策である。	自分たちにとって最善な解決策であるが、家族や友人には適さない。	
調査結果と解決策が適切に結びついているか	得た情報源から解決に必要な情報を的確に取捨選択し、更には分析を行い、解決策につなげることができている。	得た情報源から問題解決に必要な解決策につなげられている。	得た情報源から分析が論理的につながっていないが、解決策はつながっている。	得た情報源からの解決策と分析が強引であり、論理的でない。	調査結果と解決策が、全く結びついていない。	
解決策に独自性はあるか、効果があるか	今までにない解決策であり、問題解決としてふさわしい上に、自分たちが行うからこそ意味のある解決策である。	今までにない解決策であり、問題解決としてふさわしい。	今までにある解決策であるが、問題解決にはふさわしくない。	今までにない解決策であるが、問題解決にはふさわしくない。	今までにある解決策で、かつ問題解決にふさわしくない。	
自分たちにとって実現可能な解決策を提案しているか	実現に向けて自分たち自身で行動することが可能であり、効果が高く根本的な解決が望める。	実現に向けて自分たち自身で行動することが可能であり、効果がある。	実現に向けて自分たち自身で行動することは可能だが、効果がない。	実現可能だが、実現に向けて自分たち自身で行動することが出来ない。	実現不可能。	
プレゼンテーションの質は高いか	CBLでの調査・考察が、単純明快かつ一貫性のある説明がされている。さらに、美しく整ったスライドになっている。	CBLでの調査・考察が単純明快かつ一貫性のある説明がされている。	CBLでの調査・考察が単純明快に説明されている。	CBLでの調査・考察が説明されている。	CBLで取り組んだ内容が分からない。	